



みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 酒井
電話:0584-73-1111 <内線212>
E-mail: sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての
相談はこちらまで。
お待ちしております。



家庭教育応援通信
令和6年度バックナンバー

これも「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

大谷翔平選手も作成したマンダラチャートを活用しました。目標とそのための行動を親子で共有する在宅取組型家庭教育学級です。「話そう！語ろう！わが家の約束」運動は、「めあてを決め、取り組み、親子でふりかえる活動」ですが、これは、将来という長期のめあてづくりを通して、親子のコミュニケーションをつくる活動です。実践カードはありませんが、これをもとに親子の協力した行動が始まれば、こんな素敵なことはありません。

郡上市立八幡西中学校

なりたい自分になるために

【活動の目的】

親が我が子の夢や目標を知り、共に考え話し合う機会をもつことで、親子のコミュニケーションを図り、中学校生活をより良いものにしてほしいという願いを込めて、取り組みました。

【取組の様子】

○親子で取り組んだ マンダラチャート 実践例

夢「イラストレーターになって人を笑顔にできる絵を描く」

○活動のふり返り

今回自分の夢について向き合
って、目標が立てられて良かったです。夢の実現に向けて、お母さんが、私の夢を応援してくれて、協力しようとしてくれて嬉しかったです。(生徒より)



幼い頃のように将来の夢について簡単に口にしなくなり、何を考えているのかな?と思っていたタイミングでのマンダラチャートでした。時間をかけてじっくりと2人で考えることができて、とても良い機会をいただきました。(保護者より)

人に笑 れない	自分の夢 をもち	ポジティブ に考える	アイデアを はる	タレントさ いほす (何れもまじ)	世間の人が 見たいもの を描く	大谷翔平 とはなす	他人の意見 を尊重する	人々を笑 ふ場に行く
漫才から 最後まで やる	自分の 意見を述べ	ネガティブも 見られる	多くのひと と話す	流行とつな げる	世間の人が 見たいもの を描く	父親で はなす	コミュニケーション 能力を 高める	相手の話 をきく
決定されて も不満な ない	自分の 気持ちを 人に伝える	人の意見も 聞く	様々な ジャンルに 関わる	SNSを 見る	自分や世 界の人は 描かない	初対面 でも話せる ようになる	正しい知識 を学ぶ	お礼を する
イラスト関係 の知識を 増やす	話が聞ける 場に行く	正しい 情報を知 る	自分の 意見を述べ	流行とつな げる	コミュニケーション 能力を 高める	父親を 大ににする	計画書 を書く	お礼を する
イラストの なかに 描く	情報を 集める	言葉に ついて調 べる	情報を 集める	イラスト レーター になる ための 勉強をする	信頼できる 人を見つける	感謝の 気持ちを 伝える	信頼できる 人を見つける	絵を描く 練習をする
高校に ついて 調べる	大学に ついて 調べる	社会に ついて 調べる	勉強の 楽しさを 感じる	イラスト を練習する	イラスト を練習する	情報 リテラシー を高める	人々の 反応を 見る	思いやりを もつ
絵に かいた ものを 調べる	お礼を する	イラスト の練習を する	定期的に 発表	自分の 作品を 発表	SNSを 見る	お礼を する	手書き の練習を する	人々の 反応を 見る
絵を 調べる	勉強の 楽しさを 感じる	言葉に ついて調 べる	勉強の 楽しさを 感じる	イラスト を練習する	イラスト を練習する	人々の 反応を 見る	手書き の練習を する	人々の 反応を 見る
大.セリフ を書く	日記を かく	お礼の 気持ちを 書く	勉強の 楽しさを 感じる	イラスト を練習する	イラスト を練習する	人々の 反応を 見る	手書き の練習を する	人々の 反応を 見る

【取材を終えて】

「保育士になりたい。」「バスケット日本代表になる。」「料理に関わる仕事をしたい。」

生徒たちの夢や目標を親子で共有し、共に歩んでいただけるこの取り組みを、今後も続けていけることを期待しています。

大垣市立宇留生小学校 家庭教育学級 親子でチャレンジ！「ポーセラーツ」

令和7年8月21日(木) 13:30~15:00
希望親子対象

簡単だけど個性的な作品がいっぱい

「ポーセラーツ」とは、真っ白な磁器に、シールや絵の具で絵柄をつけて焼き付ける作品づくりのことです。

講師の方が持ってきてくれたデザインシートから

- ① 好きな部分を切り取り、水に浸す。
- ② 台紙からはがれてきたシールを自分のお皿やマグカップに貼り付ける。
- ③ ゴムのへらで間の水や空気を追い出す。

あとは、講師のお家の窯で焼きつけるとできあがり。

簡単だからこそ、個性あふれる作品になります。なにより、切り取ってシールを集め、それをレイアウトする作業は、好きなものをコレクションをしているような楽しい気分になります。そして、作りながら、「かわいい！」「素敵！」「いいね！」の言葉をもらえると、うれしくなります。



赤いサクラノボと白黒の果物の断面で統一感を出しました。



次男の好きな乗り物や動物を貼り付けてサプライズプレゼントにしました。



お皿を洗って伏せたときにも絵柄がみえるようにしました。

講師から最初の説明

最後に作品発表



「一歩前進」

- ・ 家庭教育学級の講師を頼むため、大垣市から配付された冊子を利用しました。お皿やカップにシールを貼り付けるという、どの学年でも無理なくできる活動にしました。
- ・ 教頭先生のお子さんは、すでに独立してみえますが、昔、親子で絵付け体験をしたカップが食器棚に残っているそうです。「思い出の1つとして大事にしています。」という言葉は、作品作りへの意欲を高めました。



参加者の感想

- ・ 初めてポーセラーツを体験しました。難しいイメージでしたが、切って、貼って、空気を抜くという簡単な作業。すべてが楽しかったです。
- ・ ずっと前から娘と一緒に体験してみたかったので、夏休みの宿題提出日というナイスタイミングで参加できたことをうれしく思います。
- ・ 親子ともスマホやタブレットから離れて、落ち着いて集中できる時間になって良かったです。

大野町立北小学校 家庭教育学級 親子で作ろう万華鏡作り！

夏季休業中

対象：1年生親子



笑顔と学びを育む親子制作

北小学校では、毎年夏季休業中に家庭教育学級で親子制作を行っています。昨年度は、マグカップに絵を描いて、オリジナルマグカップを作りました。今年も家庭教育学級委員さんが話し合って万華鏡に決めました。

親子で一緒に作品を作ることで、自然な会話や笑顔が生まれ、信頼関係も強まります。忙しい日常では得られない「共有の時間」が、子どもにとって安心感や親からの愛情の実感につながります。

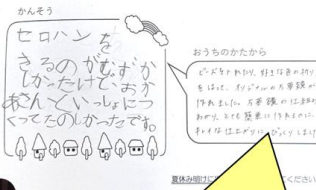
また、「自分で作れた」「親に褒められた」という体験が、子どもの自信になります。失敗してもやり直せる経験が、挑戦する力や粘り強さを育てます。

また、万華鏡を作る経験を通して、その仕組みや素材の特性についての学びにつながります。何より、一緒に作った作品や写真は、夏休みの大切な思い出になりました。そして、子どもが大人になっても、「あのとき、一緒に作ったな。」という記憶は心に残ります。

北小学校の保護者の感想を読ませていただきました。一緒に万華鏡を作ったことで子どもの成長に気付いたり、子どもが夢中になる姿を見て自分もうれしくなったり。「親子一緒に」何かをする体験は大事なあと改めて感じました。

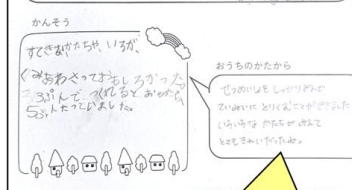
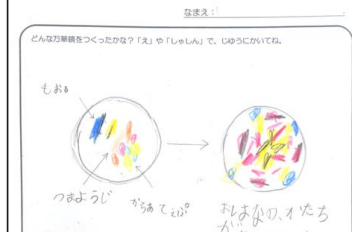
教材キットを利用した「在宅取組型」

親子で作ろう万華鏡作り♪



ビーズを入れたり、好きな色の折り紙を貼って、オリジナルの万華鏡が作れました。万華鏡の仕組みが分かり、とても簡単に作れるのに、キレイな仕上りにびっくりしました!!

親子で作ろう万華鏡作り♪



説明書をしっかり読んで、ていねいに取り組むことができました。いろいろな形が見えて、とてもきれいだったね。

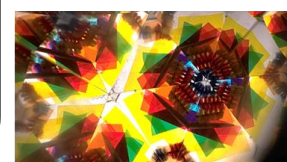


「自分でできた!」「作るって楽しい!」「万華鏡って不思議!」 子どもの姿から親の喜びが生まれます。

- ・ 説明書を見ながら自分で作れてよかったね。
- ・ 小さな紙やモールを上手に細かく切ることができました。自分で最初から最後までやろうとがんばる姿が見られました。
- ・ 上手にはさみを使って切ったり、貼ったりしていました。
- ・ 楽しそうに作っていました。何回も作り方を見てやり直すことをくりかえしていました。
- ・ 自分で上手に作れました。振ってから見ると、いろいろな形に変化してきれいだったね。
- ・ 初めての万華鏡に感激していました。
- ・ 自分で作ったから、万華鏡のしくみがよく分かりましたね。
- ・ 作る楽しさと、覗き込んだ際の見え方の違いの新鮮さを感じることができたと思います。
- ・ 他にもいろいろな形を見れるといいですね。



思いがけない美しさに引き込まれます。



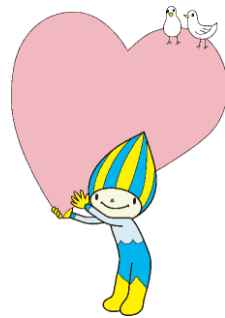
子どもと大人で幸せを考える討論会（高山市立宮中学校）

持続可能な家庭教育学級として、学校の授業、行事と連携して家庭教育学級を行うことは、学校においても、家庭においてもwin&winの関係になる内容です。討論会という方法も、これから子どもたちの将来に必要な力を育てます。

「幸せとは何か？」

生きてきた時代の違う子どもと大人が同じ場で交流することで、多様な幸せの在り方を知り、自分の考えていなかった幸せも幸せなことだと気づきます。

何よりも、親子で同じ内容について深く考える時間は、幸せな時間となっています。



□ 高山市立宮中学校 テーマ：PTA 親子道徳【子どもと大人で行う討論会】

「幸せになるために必要なことは？ ～あなたの幸せは何ですか～」 学校行事(授業)参加+体験型

○期日 令和7年6月26日(木) ○場所 各教室 ○主催 PTA 教養部 ○対象 全校親子



・PTA 教養部会の新たな試み！

これまでの講演会型の取組を見直し、『生徒と保護者が主体的に活動し、より自分ごととして考えたり行動に結びつけたりできる力を育みたい!』という願いから、この企画が生まれました。

・多様な価値観を生み出す工夫

全校生徒が異年齢の6グループに分かれます。また、保護者はわが子とは異なるグループに参加します。異年齢で交流することで、生徒も保護者も新たな気づきや発見、意識の変容が生まれることを期待しました。



幸せになるために、必要なことは・・・

当たり前の事が、当たり前じゃないと感じた時



どれが欠けても、幸せになれないのかも・・・

・お金 ・時間 ・健康 ・家族 ・友達



親子で「幸せ」について考えるってすごい、おもしろい！大きなテーマに向かって、全学年の生徒と保護者の皆さんが楽しくも真剣に交流し一枚の模造紙にまとめていきました。

話して、聞いて、考えて・・・、この新しい取組自体が参加者みんなの幸せをつくり出している時間であり、宮中学校の幸せを創造する取組だと感じました。

グループ交流において一人の生徒の『家族と笑い合えることや仲間と直接会って笑うことは、オンラインでゲームをしていて笑うこととは違うと思う。オンラインゲームでは、ゲームの楽しさだけで笑っているような気がする』という発言が、印象的でした。幸せについて、追求し考え抜いた言葉だと感じました。

<保護者の感想>

- ・みんなで意見を出し合ったことで、自分では気づかなかった気持ちなどを知ることができ、子どもも大人も幸せについて考えながら、毎日を大切に生活していけるのではないかなと思いました。
- ・ディスカッション形式で言葉にして、さらにまとめて発表することも、生徒だけではなく保護者などふだん関わりのない人から意見を吸い上げてまとめることも、これから必要な力だと感じました。